

第 1 回岡崎市都市計画マスタープラン住民説明会（額田地区） 議事要旨

日時	令和元年 11 月 2 日(土)13:00～14:00
場所	額田センター・こもれびかん 集会場 AB
参加者	10 名

1 開会

岡崎市都市計画課 鈴木係長の進行により開会

2 あいさつ

岡崎市都市計画課 新井課長から挨拶

3 岡崎市都市計画マスタープラン（全体構想まで）に関する説明

4 質疑応答

質問者 1 岡崎市	・額田は、土地利用協議会があったが、その目的とその後の経緯を知りたい。 ・土地利用協議会は平成 21 年の 6 月に設立されて、地域の自然環境を保全しながら現行の都市計画マスタープランに基づいた岡崎の東の玄関口にふさわしいまちづくりを推進するといった目的で設立された。 ・10 年以上にわたる活動の後に、まちづくり協議会の役割を一旦総代会に委ねられた。今後は総代会長を中心にまちづくりの考えをどうまとめいくか検討していただきたい。
質問者 1 岡崎市	・都市計画マスタープランの中に「自然」の言葉がよく出てくるのだが、自然を放置するのではなく、整備することによって自然が活かされると思う。 ・市内の 6 割以上が森林で、守っていかなければならないものとして認識している。将来にわたって持続可能な都市の観点でも、自然環境と調和した都市を掲げている。
質問者 2 岡崎市	・これからの展開で地域別構想を考えていくにあたって、地元の意見がどういった形で反映されるのか。 ・地域別構想案を作成した後、1 月下旬にもう一度地域別懇談会で説明する。その中でいただいた意見は、都市計画マスタープランに関係することで地元の総意の話ということであれば、なるべく反映していきたい。 ・今年度に素案を作成し、来年度に原案を作成し、パブリックコメントを経た後に計画が策定される。その中で地区全体の意見があったら掲げていただきたい。
質問者 2 岡崎市	・地元の意見の話は、これからは総代会とのやり取りになるのか。 ・まちづくり協議会の解散により、総代会だと思っている。
質問者 3	・私は任意団体で里山づくりの活動をしているが、里山づくりは都市計画マスタ

	ープランの一部に取り入れられても不思議ではない。都市計画マスタープランのような全体を網羅した計画の中に、このような活動を反映していく仕組みがほしい。 ・総代は1年ごとに変わっていくため、総代会をうまく機能させる運営の仕方がわからない。市のプランと地元の人々や組織との意識がかけ離れている気がする。
岡崎市	・里山の保全は、農地や森林の多面的機能の維持の観点で都市計画マスタープランに書いていこうと思っている。 ・個別の市民の活動にまで踏み込んで記載することは困難と考える。
質問者 3	・具体的な話を進めるときに、将来都市構造図（資料 p. 5）の自然環境保全ゾーンの項目に里山づくりの活動を取り入れていただきたい。
岡崎市	・関係課とも調整しながら、どういったことができるのかを精査していきたい。
質問者 4	・土石流の対策は考えてあるのか。
岡崎市	・土石流危険渓流のほうは人家や集落の数によって、県の事業で砂防施設等を順に整備していく。

5 閉会

以上